

## 新型コロナウイルスを取り巻く現状における 第92回日本英文学会全国大会開催の見通しについて

新型コロナウイルスが世界的な大流行となり、日本国内でも長期的な影響が避けられない見通しの中、健康上の安全と円滑な社会生活のバランスを適切にとる必要性が高まっております。日本英文学会では、このような状況下、2020年5月16日-17日に琉球大学にて開催予定の第92回大会の開催の可否について協議を重ね、以下のような対応策をとることと致しました。会員の皆様におかれましては、ご理解をいただけますよう、お願い申し上げます。

### (1) 沖縄での大会開催の可否の決定時期

大会1ヶ月前を目処に判断し、4月20日(月)までには学会ウェブサイト等を通じて決定事項を告知いたします。これに加え、大会の登壇予定者には、大会準備担当書記より直接メールにてご連絡を差し上げます。

懇親会につきましては、琉球大大会が中止の場合は自動的に中止となりますが、「大会は開催するが懇親会のみ中止」という可能性もありますので、その場合は別に検討の上、周知いたします。

### (2) 判断の基準

学会開催時に、琉球大学でのカリキュラムがほぼ普段通り行われているかどうかを主たる判断基準とし、琉球大学側に特段の支障がなければ、新型コロナウイルスの予防に関する配慮を徹底したうえで、日本英文学会全国大会を実施する方向で考えております。大会が開催された場合の参加拒否は、通常の自己都合による学会欠席と同じ扱いとさせていただきます。ただし、参加の意志はあるが移動制限のある国や地域に居住しているため沖縄に行けない、風邪に似た症状があるため欠席せざるを得ない等、然るべき理由のある登壇予定者につきましては、スカイプなどを通じた遠隔参加の可能性を検討いたします。

### (3) 琉球大学での開催を断念した場合の代替措置

琉球大学での開催を断念せざるを得ない場合、日本英文学会のウェブサイト上に期間限定かつ会員限定のクラウド空間を設置して、登壇予定者の成果発表資料などを公表していただき、第92回大会をヴァーチャル・カンファレンスといたします。6月末を目処に登壇予定者から原稿や資料等をお寄せいただき、7月中にカンファレンスを実施する予定であり、当学会はこれを登壇者の研究成果発表とお認めいたします。ヴァーチャル・カンファレンスの詳細については、まだ検討中のことも多いため、登壇予定者には追って大会準備担当書記より直接メールにてご連絡を差し上げるとともに、詳細が決定いたしましたら、一般会員の皆様にもウェブサイト上で告知する予定です。

以上

日本英文学会

会長 原田範行

事務局長 岩田美喜

大会準備委員長 不破有理

理事会